

ハウセンカエキス

Impatiens Balsamina Extract

(商品名：ハウセンカエキスTCP／PD)

ハウセンカの紹介

東南アジア（インド、マレー半島、中国南部）原産の一年草で、ツリフネソウ属ツリフネソウ科の植物です。現在では、ハウセンカは世界中で栽培され、日本でも観賞用として広く知られており、小学校の理科の教材として栽培されるほどポピュラーな植物になっています。夏から秋にかけ白色、桃色、赤紫色、紅色などの花をつけ、さく果（果実）が熟すと勢いよくはじけて種子を飛ばすことから、英語では「Touch me not（私には触れないで）」とも呼ばれています。

漢方では、ハウセンカの全草を乾燥させたものが去風、活血、消炎、鎮痛薬としてあるいは関節リウマチ、打撲症などの治療に使用されてきました。また、民間薬としては四国地方で、古くからその白色花卉の焼酎漬けがかゆみ止めとして使われるなどしています。



和名：ハウセンカ（鳳仙花）
英名：Garden balsam
学名：Impatiens balsamina L.

ハウセンカエキスについて

1. 基原

ハウセンカの全草（地上部）から抽出されたエキスです。

2. 組成・物性

商品名	基剤 [v/v %]	化粧品全成分表示
ハウセンカエキス TCP	水/エタノール = 50/50	ハウセンカエキス エタノール 水
ハウセンカエキス PD	水/1,3-BG/1,2-ペンタンジオール = 50/40/10	ハウセンカエキス BG ペンチレングリコール 水

性 状：微臭性の褐色～暗褐色の液体

溶解性：水、エタノールに可溶

貯蔵方法：密栓、冷暗所保存

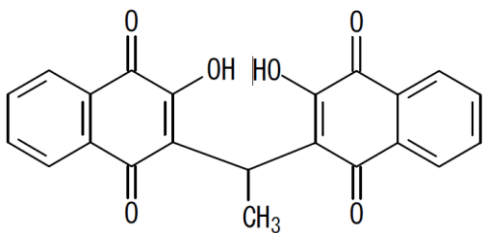
用 量：2.0～10.0%

3. 特徴

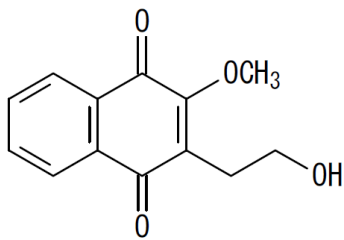
ハウセンカエキスは、製造元であるティー・シー・ファルマ社により開発され、平成12年、厚生省（現 厚生労働省）から初めて化粧品製造承認を取得した新規植物原料です。

ハウセンカの伝承作用を裏付ける研究については、これまで武庫川女子大学薬学部生薬学研究室の石黒京子先生により進められており、すでに多くの文献や学会発表などで報告されています。

ハウセンカエキスに含まれる主な成分



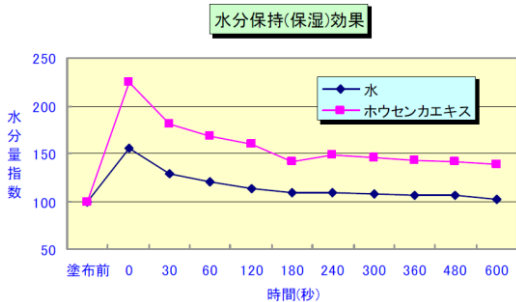
インパチエノール
Impatienol
(天然物から初めて単離)



バルサキノン
Balsaquinone
(天然物から初めて単離)

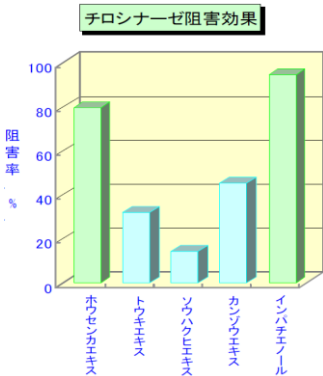
※この他、ナフトキノン類としてローソン (Lawson) 、3,3'-メチレンビスローソン (3,3'-Methylenebislawson) 、2-メトキシ-1,4-ナフトキノン (2-methoxy-1,4-naphthoquinone) などが、またフラボノイド類としてケンフェロール (Kaempferol) 、クエルセチン (Quercetin) あるいはその配糖体などがハウセンカエキス成分として単離されています。

ハウセンカエキスの薬理効果

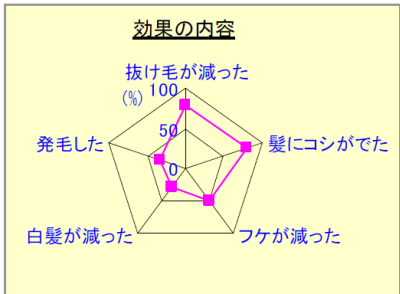
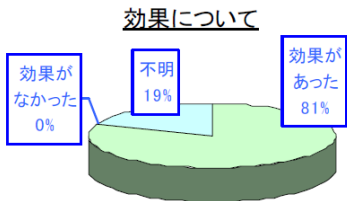


水とハウセンカエキス配合化粧水を同じ分量それぞれヒトの皮膚に塗り、時間の経過とともに皮膚の水分量を測定し比較する試験を行いました。その結果、ハウセンカエキス配合化粧水には、優れた保湿力と高い持続性がある事が確認されています。
(塗布直前を水分量指数100とした場合のデータ)

インビトロにおいて、ハウセンカエキスとインパチエノールのチロシナーゼ阻害活性を調べました。その結果、美白効果があることが知られる植物 (トウキ、ソウハクヒ、カンゾウ) の各エキスと比較して、ハウセンカエキス及びその成分インパチエノールには、強いチロシナーゼ阻害活性があることが確認されています。



育毛効果



被験者95名 (うち女性9名) に、ハウセンカエキスを配合したヘアローションとヘアシャンプーの試作品両者を3ヶ月間継続使用させ、その効果につきモニターしました。3か月経過後、まず、「効果あり」「効果なし」「不明」の3段階で評価させ、更に「効果あり」と答えた被験者77名 (81%) から、その効果の内容についての回答 (複数回答) を得ました。グラフに示すように、ハウセンカエキスには、非常に高い育毛効果がある事が分かります。

ニキビ菌に対する抗菌効果

2種類のニキビ菌 (*P.acnes*, *P.avidum*) に対する抗菌活性を寒天培養法により試験しました。その結果、ハウセンカエキス及びインパチエノールいずれにも、ニキビ菌に対する抗菌効果が認められました。

試料 \ 菌	最小発育阻止濃度 (MIC)	
	<i>P. acnes</i>	<i>P. avidum</i>
ハウセンカエキス	400 μg/mL	10 μg/mL
インパチエノール	400 μg/mL	200 μg/mL